

市民とともにリニアのまちづくり アンケート調査の結果②と女性・若者委員会の取り組み

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。先月に続き、「リニアのまちづくりに向けたアンケート」の市民アンケート調査の結果（まちづくり関係）と女性・若者委員会の取り組み状況についてお伝えします。

市民アンケート調査の結果②

リニア開業に伴う当市のまちづくりの方向性については、

- ・自然、景観に配慮しながら必要な開発などを行っていく 77・7%
 - ・リニア駅および周辺を除いて新たな開発などを行わない 10・9%
 - ・積極的な開発などを行い、市街地を拡大していく 8・6%
- となり、7割以上の方が自然、景観に配慮しながら地域の活性化に伴う開発などは必要と考えています。

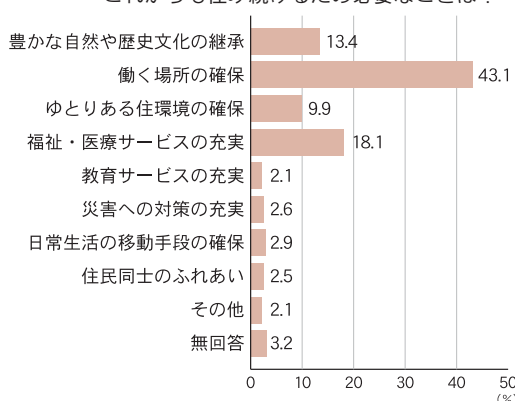
次に、**リニア駅周辺のまちづくりの方向性**については、

- ・駅前広場などの交通拠点として必要な開発にとどめ、中津川駅周辺の中心市街地との役割分担を図っていく 48・4%
- ・駅周辺で商業施設や住宅地などの開発を広範囲に積極的に行い、（中津川駅とともに2つ目の中心となる）新市街地を形成していく 43・5%

となり、交通拠点としての必要な開発にとどめ、中心市街地との役割分担を図っていくとの考えがやや上回る結果となりました。

また、**私たちや私たちの子ども・孫が、これからもこの地域に住み続けていくために必要なこと**については、「働く場所の確保」「福祉・医療サービスの充実」「豊かな自然や歴史文化の継承」「ゆとりある住環境の確保」が上位にあげられました。（グラフ参照）

グラフ 私たちや私たちの子ども・孫が、これからも住み続けるために必要なことは？



地区別でみると「働く場所の確保」については、川上、加子母、付知、蛭川の割合が高く、「福祉・医療サービスの充実」については、坂本、神坂、山口、坂下などが割合が高い結果となりました。

果となりました。

今回の市民アンケートでは、リニアが整備されること、中津川の魅力やまちづくりに関する自由回答をいただき、リニア開業に期待することについては、産業の発展、研究開発企業の誘致、雇用の増加といった声があり、一方、不安なことについては、自然環境、治安、地価高騰、交通渋滞、騒音、電磁波（磁界）といった事項が挙げられました。

女性・若者委員会の取り組み状況

女性・若者委員会では、リニア時代の「理想のまち・ライフスタイル」をテーマに女性・若者の視点からまちづくりを検討してきました。

12月3日（月）の第5回委員会では、女性・若者ならではのこだわりについて話し合い、これまで検討してきたまちづくりのアイデアと合わせ委員会としてのまとめを作成しました。

女性・若者の考える

まちづくりに対するこだわり

①若者が地元で働き、地元で暮らすための雇用の創出にこだわる

子どもを持つ親の一番の願いは、「家族みんなが一緒に暮らせること」です。そのためには、若者が地元で働けるよう、雇用の数と選択肢を広

げることが重要です。

②地域を創る人づくり、教育・子育てにこだわる

未来の地域を担う若者を育てるためには、ソフト・ハードの両面で教育環境を整備し学力の向上を目指すとともに、ふるさとへの愛着を育む「ふるさと教育」が重要です。

③豊かな自然や景観などの中津川らしさにこだわる

リニアによって地域を「変えていくこと」は必要ですが、同時に「変わらないこと、守ること」も大切です。豊かな自然や景観を守るためには、きちんとしたルールを作り、明確な意思とルールに基づいてまちづくりを進めることが重要です。

④他にないオリジナルの地域資源にこだわる

観光を考えるうえで、世界中で中津川にしかない地域資源は、リニアと車両基地です。中津川を鉄道好きの子どもたちや鉄道マニアが何度も訪れるような「リニアの聖地」にするための取り組みが重要です。

これらのご意見は、次回の策定委員会でご報告し、他の委員会のご意見などとともに、まちづくりビジョンに反映していきます。

リニア中央新幹線
やアンケート調査結果は、市ホームページでご覧いただけます。

問 リニア推進課（内線324）